

2025年3月9日

(朝10:30-11:30)

聖日礼拝

司会 城尾マコト

前奏	全員黙祷	「新聖歌23番」	ヒムプレヤー
招詞	イザヤ書55章1~3節(旧1024頁)	司会者	
頌栄	「新聖歌60番」	ヒムプレヤー	
主の祈り	(プログラムに印刷)	全員	
使徒信条	(プログラムに印刷)	全員	
交誦文	新改訳4番詩篇18篇881頁	司会者・全員	
聖書	出エジプト5章22節~6章1節	司会者	
讃美歌	新聖歌102主は命を	ヒムプレヤー	
祈祷	司会者による祈り		
	子供達の祝福の為の賛美484番	ヒムプレヤー	
讃美歌	新聖歌123救いの主は	ヒムプレヤー	
メッセージ	「わたしが主である」	城尾淳一	
讃美歌	新聖歌112カルバリの十字架	ヒムプレヤー	
	証とお知らせの時間		
献金	新聖歌55番		
頌栄	新聖歌63番		
祝祷		城尾マコト牧師	
後奏	全員黙祷 新聖歌59番		



Youtube



Facebook



HomePage

今週のお話の要約

聖書学者や考古学者の研究によれば、モーセが神様にイスラエルの民を救い出すよう命じられた時代は紀元前13世紀頃であり、出エジプト記1:11に記されている「倉庫の町ピトムとラメセス」は考古学的発見と一致しています。

出エジプト記4章で、神様はモーセに「わたしがパロの心をかたくなにするので、彼は民を去らせないであろう」と告げられました。神様がパロの心を頑なにするのは、単にイスラエル人を約束の地へ導くだけでなく、罪に定められた人々を救うための神様の大きな計画の一部でした。「かたくなにする」というヘブライ語「ハザク」には「強くする」という意味もあり、パロの元々の性質を強めたとも解釈できます。

モーセとアロンがパロに「わたしの民を去らせ、荒野で、わたしのために祭をさせなさい」と伝えると、パロは「主とはいったい何者か」と拒絶し、さらにイスラエルの労役を重くしました。藁自分で集めながら同じ量のレンガを作るという過酷な命令により、イスラエルの民はモーセとアロンに不満を抱きました。

モーセが神様に嘆くと、神様は「わたしはあなたをパロに対して神のごときものとする」と言われ、アロンを代弁者として立てられました。神様は力のないモーセを通して働くことで、神様の力を示されたのです。

モーセとアロンがパロに戻った時、彼らは杖が蛇に変わる奇跡を示しましたが、エジプトの魔術師たちも同様のことができました。続くナイル川の水が血に変わる災いでも同じでした。しかし、その後の災いは徐々に強まり、エジプトの魔術師たちには模倣できなくなりました。

十の災いを通して、神様はエジプトの様々な偶像に対する挑戦を示し、イスラエル人とエジプト人の間に明確な区別をつけられました。これらの災いは単にエジプト人を苦しめるだけでなく、「わたしが主である」ことを示し、イスラエルの民を解放し、主なる神様に仕えさせるという明確な意思を持っていました。

今日、私たちの心もパロのように頑なになることがあります。旧約聖書時代には父なる神様が直接語られ、新約聖書時代には子なる神様であるイエス様が語られ、現代では聖霊様が私たちの心に語りかけておられます。神様は私たちが神様のもとに立ち返り、共に歩むことを待っておられます。私たちは自分の力を誇らず、神様に喜ばれる人として歩んでいきましょう。

城尾 淳一